宮原小学校　人権だより　「なかま」

なかよくしよう　かたりあおう　まるい心でつながろう

No.８　２０２２年2月１０日（木）　文責：澤本

例年であれば２学期の授業参観時には、教育講演会を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため懇談会でのＤＶＤ視聴の形で昨年度、今年度と取り組みました。視聴後に、意見交換や感想記入などしていただき、大勢で講演を聴く時よりも、少ない人数でじっくりと学ぶ場になったと感じました。ＤＶＤの内容は、

１年「同和問題～未来に向けて～」･･･結婚差別を例に考えるものです。

２・３年「私の中の差別意識～部落問題から考える～」･･･差別とはなにか、なぜ差別は残るのか、あなたの中にある差別・偏見について、考えるものです。

４年「部落の心を伝えたいシリーズ２９巻　私は変わることができる～熱と光で生きる力を・西村敦郎～」･･･差別は、誰が傷つき、誰を不幸にするのか。差別の本質を考えるものです。

５・６年「シリーズ映像で見る人権の歴史　第４巻　明治維新と賤民廃止令」･･･部落問題には「迷信」がいくつもあります。「部落差別」が存続した構造を考えるものです。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇　保護者の方の感想より　◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇

○日本人は、特に調和を求める人が多く、自分自身の意見や考えを表現しない人が多い。今回の DVD を視て周囲の意見だけを全てと捉えず確実な情報を自分で学び自分の意見をしっかりもつ必要があると感じた。部落差別や人種差別、様々な場面で差別は未だ有るが、自分の考えや情報把握に努め、自分や周りの言動を見つめ直していこうと思う。

○大人の何気ない発言が子どもに伝わり、嘘の情報が浸透し続けていくと感じた。その人のこと、地域のこと、本当の情報を知り、伝えていく事が大切。

○自分は、これまで他人や職場の人に対して、差別偏見の意識はないと思っていたが、今回の DVD を見て、本当にないといえるのだろうかと考え直すきっかけになった。差別される人だけが不幸になるのではなく、差別、いじめ、悪口等差別する側の人も不幸になるという事が印象に残った。産まれた場所に関係なく、皆同じ命なんだよと子どもたちにも伝えていきたい。

○海外では、いじめがあった時にいじめる人をケアするそうだ。人をいじめようとする心に問題があるとされているから。日本でもこういう差別をする人に知識を広めたり、差別に固まっている心を解放する活動がもっともっと学校でも社会でも広がっていくといいと思う。大人も一人一人正しい知識で思いやりのある行動をとれるよう気を付けたい。

◆◇◆たくさんの感想　ありがとうございました。◆◇◆